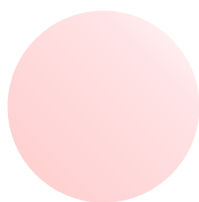
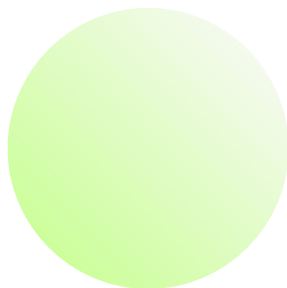
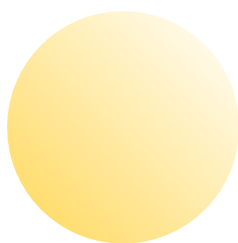
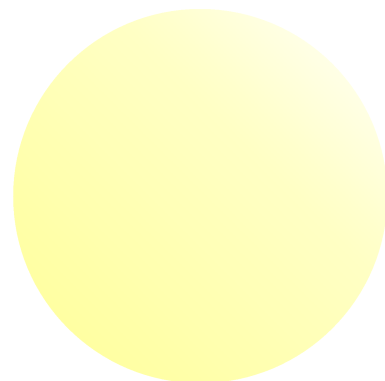


サポート ノート

記入例



なまえ
名前

このサポートノートは、^{げんざい こ}現在の^{じょうたい}子どもの^{しえんないよう}状態や^{ほうほうなど}支援内容・方法等の^{じょうほう}情報を^{せいり}整理して^{えん がっこう つた}園や学校へ^{あんしん}伝えることで、^{せいかつ}安心して^{おく}生活を送ることができ^{もくてき}るようにすることが目的です。^こ子どもの^{こま かん りかい}困り感を理解していただき^{おも}たいと思います。

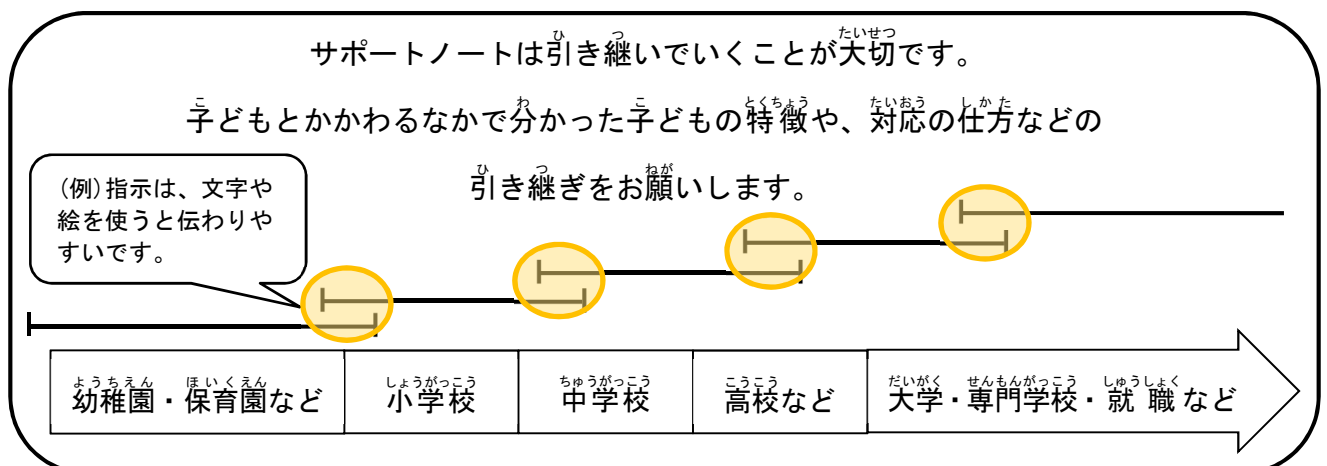
^{すべ}全てを^{つた}伝えることはできないかもしれませんが、^{すこ}少しでも^{おも}多くの^{じょうほう}情報を^{きょうゆう}共有したいと思い、^{おも}作成しました。

^{しえん}支援の方々に^{かたがた}共通^{きょうつうにんしき}認識をしていただくためのものです。^{こじんじょうほう}個人情報になりますので^と取り^{あつか}扱いは^{しんちょう}慎重に^{おも}していただきたいと思います。

また、^{しんきゅう}進級しても、^こ子どもの^{じょうほう}情報を^ひ引き継いで^つください。
よろしく^{ねが}お願いします。

記入者氏名 ^{つづきから}続柄 (^母) 直方 花子

● ^{ねん}年 ▲ ^{がつ}月 ■ ^{にち}日



きくせいび [作成日： ●年 ▲月 ■日]

(ふりがな) ほんにん なまえ 本人の名前	(おとこ ・ おんな)		
あいしょう よ な 愛称 (呼び名)			
せいねんがっぴ 生年月日	ねん 年	がつ 月	にちうまれ 日生
れんらくさき 連絡先	なまえ 名前	こどもとのつづきから 子どもの続柄 ()	
	じゅうしょ 住所	じたくでんわ 自宅電話 ()	
		けいたいでんわ 携帯電話 ()	
きんきゅうれんらくさき 緊急連絡先	なまえ 名前	こどもとのつづきから 子どもの続柄 ()	
	じゅうしょ 住所	じたくでんわ 自宅電話 ()	
		けいたいでんわ 携帯電話 ()	
ほいく りょういくれき 保育・療育歴	ほいくえん ようちえんなどつうえん 保育園・幼稚園等通園 (○年△月～○○保育園)		
	りょうちゅう りょういくほしよ 利用中の療育場所 (○年△月～直方市の療育教室 週1回)		
	(○年△月～○○発達支援事業所週3回と保育園を併用)		

しんたんめい 診断名 (診断名があれば記入してください)	例1・注意欠如・多動性障がいの疑い 例2・自閉スペクトラム症 例3・はっきりした診断は言われませんでした。発達のかたよりがあると言われました。運動が不器用と言われました。 例4・低出生体重児 心房中隔欠損症 (○年△月 診断した病院名 ○○病院小児神経科)		
げんざいじゆしん 現在受診している 医療機関等	じゆしん びやういん (かかりつけ医院等) (○○病院小児神経科 △△先生・ ○○小児科医院) げんざい にゆういん びやうき (あり) ・ なし (病名 産まれて1か月入院。気管支ぜんそくで3歳の時に1週間入院) けいれん (あり) ・ なし 熱性けいれん 1歳、1歳3か月の2回 治療：発熱時に座薬を入れる指示がありましたが、現在はほとんど使用していません。抗けいれん薬などの服用はしていません。 定期的な内服 (あり) ・ なし (寝つきに時間がかかると医師に相談し、メラトベルを処方されました)		
くすり お薬について	お薬の名前	投薬時間	飲み方など
	メラトベル (○年○月～)	1日1回(就寝前)	母が促して、自分で飲みます。
※ お薬についての注意点 副作用として傾眠(昼間にぼうつとなる)、頭痛があるそうですが、今のところそのような様子は見られていません。			

◎妊娠・出産時や小さいころの様子

出産時の週数（ 34 週） 体重（ 2200 g）

急に破水し、緊急で入院して出産しました。予定日より早く生まれ、低出生体重児だったので、〇〇病院の周産期センターに30日間入院しました。入院中に心臓の病気がわかり、心房中隔欠損症と診断されました。3歳まで経過をみてもらいましたが、手術はせずに、穴はふさがりました。

◎乳幼児健診（4か月・7か月・1歳6か月・3歳児健診）

相談を始めたころの様子・相談した人・機関など

乳児期は、運動の発達がゆっくりでした。育児では、赤ちゃんの頃からなかなか寝なかったもので、夜中ずっと抱っこしていました。1歳半ごろは、車でドライブなどをして寝かせたことが何度もありました。1歳6か月健診では、言葉のことや歩くこと等が遅く、その後から、定期的に直方市の相談に行きました。言語の先生や運動の先生に色々教えてもらいました。夜寝ないことも引き続き相談しました。

〇年△月、2歳より、保健師さんと相談し、市の親子の集団療育事業に参加しました。3歳児健診では、健診でみてもらった医師から、通っている病院に相談をして発達の検査をしてもらいましょうと言われました。検査の結果も踏まえ、より専門の療育が出来るところを紹介してもらい、〇〇発達支援事業所に通園しました。その後、月に2回、就学の準備として市の療育教室に親子で参加しました。

◎就学までの経過（病院受診のこと、療育機関でしてきたことなど）

- 〇〇病院小児科を定期的に受診しています。
〇年△月（3歳4か月）病院での発達検査では発達は2歳8か月相当でした。運動面は少しずつ追いついてきましたが、言葉の数が少なかったり、やりとりが難しかったりしました。衝動的に動くので、育児は大変でした。眠れないことを相談し、メラトベルを処方されました。
- 〇年△月（3歳6か月）から保育園に入園しました。みんなで本を読んでもウロウロしたり、先生がみんなに話しかけることが聞けなかったりするようで、1人の先生に横についてもらい、声かけをしてもらっていました。
- 〇年△月（4歳0か月）市の発達相談を受けました。
周囲の刺激に注意がそれやすく、刺激に引かれた気持ちの切りかえがつきにくい特徴があることがわかりました。体の使い方が不器用ということもわかりました。短くわかりやすい声掛けや、ほめることを増やし自信をつけるようアドバイスがありました。また、遊びの中で、指先を使う練習をするようにしていきました。
- 〇年△月（4歳2か月）から〇〇発達支援事業所に通いました。座って話を聞くことが出来るようになりました。こだわりや 身体の不器用さはのこっており、保育園と療育の併用を続けて行くことにしました。
- 就学前の1年間は、保育園と週1回の療育教室に親子で参加しました。〇〇病院の先生から、衝動的な面があるので薬を勧められ、飲み始めて経過をみています。
- 〇年△月 就学相談や、〇〇学校の学校見学に行きました。小学校の先生にこの子のことを理解してもらうためにサポートノートを作成しました。

ほんにん ちょうしょ
◎本人の長所

- ①ものごとにもじめに取り組むことができます。
- ②明るく、積極的で、いろいろなことに挑戦します。
- ③好奇心が旺盛です。
- ④看板や絵カードなど、絵や図をみて理解する力が強いです。
- ⑤正義感が強いです。
- ⑥
- ⑦
- ⑧

す 好きなこと・とくい 得意なこと
◎好きなこと・得意なこと

- ①電車が好きで、名前を覚えています。
- ②図鑑・ブロック・ビデオが好きで、かなり集中します。
- ③体を使った遊びが好きです（こちょこちょ・ぐるぐる回し・飛行機など）。
- ④リズムのある音楽が好きで、体をゆすって踊ります。
- ⑤決まりは守れることが多いです。
- ⑥お友達が好きです。上手にかかわれずに、抱きついたりすることもあります。
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

◎本人が困っていること・支援をお願いしたいこと（あてはまる項目にチェックをつけています）

A. コミュニケーションについて

●話す

- ①長い文で話すことが難しい
- ③自分の気持ちを言葉で説明できない
- ⑤言葉につまったり、訥音傾向がある
- ②一方的に自分の話したいことだけを話す
- ④適切な声の大きさや速さで話すことが難しい
- ⑥質問が終わらないうちに答えることがある

●聞く・理解する

- ⑦友達同士の話についていけないことが多い
- ⑨話を聞いても覚えていないことが多い
- ⑧複数の指示や集団での指示を聞くのが難しい

B. 人とのかかわり・社会性について

- ①友達とうまくかかわれないことがある
- ③友達といるより、一人であることが多い
- ⑤友達と協力したり助け合うことが難しい
- ⑦思い通りにならないとパニックになる
- ②人の気持ちが分からないと感じる時がある
- ④ルールが守れないことがある
- ⑥自己主張が強く、頑固なところがある
- ⑧新しい人、物、場所に慣れるのに時間がかかる

C. 課題へのとりくみについて

- ①雑であったり、不注意によるミスが多い
- ③やるべきことを忘れることが多い
- ⑤じっとすべき時にウロウロすることがある
- ⑦順番を待つことが苦手である
- ⑨準備をするのが遅い
- ⑪次の課題への切り替えが苦手である
- ②整理整頓が苦手である
- ④他に気を取られて課題に取り組めない
- ⑥絶えず手足や体を動かすことがある
- ⑧我慢することが苦手である
- ⑩行動が止まって固まることがある

D. 興味やこだわりについて

- ①興味の幅が狭く、限られたことに熱中する
- ③同じ質問や行動を何度も繰り返す
- ⑤感覚過敏がある
- ②自分なりの習慣や手順にこだわりがある
- ④勝ち負けにこだわる
- ⑥急な予定変更に対応することが難しい

E. 運動について

- ①体の使い方が不器用である
- ③筆圧が弱い
- ②バランスが悪く、転びやすい
- ④同じ姿勢を長く保つことができない

F. 生活習慣について

- ①食事について気になることがある
- ③排泄について気になることがある
- ②衣服の着脱について気になることがある

◎5ページでチェックをつけた項目の具体的な内容と対応方法
 (「番号」には、チェックをつけた項目の番号を書いています)

A. コミュニケーションについて

番号	具体的な内容	対応方法
③	<ul style="list-style-type: none"> • つまずいたときに自分の気持ちを言えず、「もうしない」と言ってあきらめることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> • うまく答えられないときは「くやしかったんだね」など気持ちを代弁してください。 • そのあと、こちらが「手伝ってあげようね」と言って介助して、本人に最後は「出来た」と言う気持ちにもっていくようにしてください。 • 苦手なことも「できる」「好きになる」ということを意識させてください。
⑥	<ul style="list-style-type: none"> • 人の話を最後まで聞けず、すぐにしゃべりだすことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「今は聞くときだね」「お口チャック」「ちょっと聞いて」と言って本人の肩を軽くたたいて気付かせます。 • ソーシャルトレーニングの絵カードを使って教えてください。 <div data-bbox="1018 981 1453 1211"> </div>
⑧	<ul style="list-style-type: none"> • クラス全体に向けての指示が伝わらないことが多いです。 	<ul style="list-style-type: none"> • クラス全体に向けて指示をした後に、本人の横に行って、名前を呼び、「〇〇しようね」と声をかけてください。
⑨	<ul style="list-style-type: none"> • 言葉だけの指示だと、聞きもらしたり、覚えていなかったりすることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 指示や活動の流れを、絵や文字で示してもらえると分かりやすいようです。 <div data-bbox="826 1576 1161 1688"> <p>今から体育館に行きます。</p> </div> <div data-bbox="1123 1541 1453 1995"> </div>

ひと ひと しゃかいせい しゃかいせい
B. 人とのかかわり・社会性について

番号 ばんごう

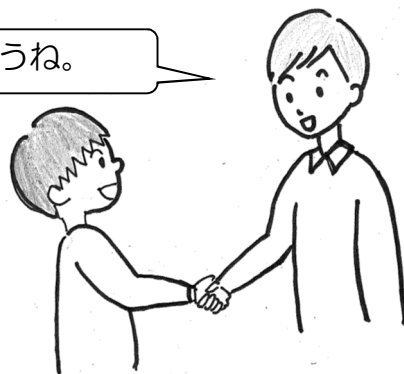
ぐたいき ぐたいき ないよう ないよう
 具体的な内容

たい たい おう おう ほう ほう ほう ほう
 対応方法

① • 友達のことは好きですが、急に抱きついたりしてびっくりさせてしまい、トラブルになることがあります。

• 抱きつくのではなく、握手やハイタッチにするように教えているところです。
 トラブルになったら、「急に抱きついたら、〇〇さんがびっくりするよ」「握手（ハイタッチ）にしようね」と声をかけてください。

握手にしようね。



④ • クラスのルールではなく、自分でルールを決めてしまうことがあります。先生が名前を呼ぶ順番などを自分で決めてしまいます。

• 活動中のルールは「先生が決める」ということを前もって話してください。
 言葉だけの指示だと、忘れてしまうこともあるので、見えるところ（黒板や紙など）にルールを書いておいてください。
 自分でルールを決めようとしたら、黒板や紙などを指さして、思い出させてあげてください。
 クラスのルールを守れたら、「ルール守れたね！」などとほめてあげてください。

⑦ • 何事も前向きで、きちんとしていけないと思うと、とても頑張るため、疲れてしまいます。
 うまくいかないと（自分が思っていたとおりに出来ないと）すべてを否定されたように感じてしまうことがあります。表情がとてもこわばって硬くなります。

• 表情がこわばり、緊張していたり、頑張りすぎたりすると思うときは、そばに寄り添って様子を見守り、頑張っていることを小さな声で「いいね」「そうそう」など励ましてください。

いいね！
 そうそう！






C. 課題への取り組みについて

番号	具体的な内容	対応方法
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 先生がお話している時に集中が続き、うろうろすることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 「今からお話をします」と事前に伝えてください。その時、本児の近くに立ってお話をする・本児の前でもう1度話すなどしてください。 「〇〇します。」など、短く・はっきり・単純な指示やお話にしてください。 「3つ大事なことをお話しします」など、事前に話す個数を予告することで、見通しをもてます。 うろうろしたときは、「今は〇〇の時間だから戻ろうね」と本児の近くに行き声をかけてください。活動に戻れたら、「戻れたね!」とほめてあげてください。
⑨	<ul style="list-style-type: none"> 次の活動の準備をするのが遅いです。教科書や筆記用具など、いくつかの物を同時に準備しようとすると混乱して、もたついてしまいます。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは教科書を準備するように指示をして、準備が終わったら次の指示を出すなど、一つ一つ指示を出してください。 最初は時間がかかりますが、慣れてくると手順を覚えて、スムーズに準備できるようになります。
⑩	<ul style="list-style-type: none"> 授業中に急に当てられると固まってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に「次は〇〇さんに聞くね」と予告してください。（授業の前や問題を解く前） 全員が発表をする時には、最初ではなく、中盤以降に順番がくるようにしていただくほうが発表できやすいと思います。 <p>参考：療育教室では、テンプレートを作ってどう発表したらよいわかりやすくしてもらっていました。</p> <div data-bbox="842 1585 1414 1933" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>（発表の仕方）</p> <p>わたしは（ぼくは）・・・と思います。</p> <p>理由は・・・だからです。</p> <p>（すぐに言えないとき）</p> <p>あとでいいです。</p> <p>わかりません。</p> <p>考え中です。</p> <p>待ってください。</p> </div>

D. 興味やこだわりについて

番号	具体的な内容	対応方法
②	<ul style="list-style-type: none"> • ルールに厳しいです。他のお友達がルールを守らないと、そこまで行って注意をします。 	<ul style="list-style-type: none"> • ルールは守らないといけないということにこだわるようです。状況に応じた場の判断はまだまだ難しいと思います。 本人の言い分を聞いてください。そのうえで、「こんな場合もあるんだよ」「こんな風に注意してあげるとよくわかるかもね」と解説してください。納得すると、次の行動に移れます。
④	<ul style="list-style-type: none"> • 勝ち負けにはこだわりますが、小さいときに比べるとずいぶん自分の気持ちを納めることが出来るようになってきています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「負ける」とは「ダメなこと」と思い込んでいます。小さい頃は負けるかもしれないと予測が出来ず、受け入れ難い状況になるとパニックを起こしていました。 「この遊びは勝つときと負けるときがあります。勝っても威張りません。負けても怒りません。」と遊びの前に約束をして、負けたときは「勝ちたかったね、負けてくやしかったよね。頑張っていたのはすごくよかったよ。」 と言った声掛けをしてきました。ここ最近は、気持ちの切り替えができるようになってきているところです。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> • たまに、人がそばに近づくと身体をよけたり、「来ないで」と言ってよせつけなかったりすることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 体に触れる時は前もって「ここを押さえておくよ」と予告をすると怖くないようです。お友達との間でそのようなことがあるときは、「急に近づいたから〇〇ちゃん、びっくりしたんだよ」とサポートをお願いします。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> • 合唱をされていて、耳を押さえることがあります。ごくたまに気分が悪くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> • すべてではありませんが、音にも少し敏感です。保育園では、合唱で歌う位置は端にしてもらっていました。気分が悪くなった時の対処の仕方なども含め事前に本人と話し合ってください。 (その場に座る、列から離れる)

E. ^{うんどう}運動について

番号 ばんごう	くたいてき ないよう 具体的な内容	たい おう ほう ほう 対応方法
①	<ul style="list-style-type: none"> • 力を入れる・抜く、ゆっくり・そっとの調整がうまくいきません。 	<ul style="list-style-type: none"> • 見本を見せることや、声を掛けながら一緒に動作するなど、実際に見ることでイメージがしやすくなります。
②	<ul style="list-style-type: none"> • 平均台を歩くことや、片足立ちが不安定になります。 手先が不器用で、書いたり、はさみ・箸を上手に使えなかったりするので、時間がかかります。 	<ul style="list-style-type: none"> • 微妙な動きの調節ができにくく、体の一部を動かすだけでも大きな動きや動揺を伴う傾向があります。体育や運動遊び、日常の動作など、本人が自信のない課題はさりげなく手伝っていただき、「できた」体験を増やしてください。
④	<ul style="list-style-type: none"> • 座る姿勢が安定しません。着席しても動いてしまいます。 <div data-bbox="459 1043 746 1211" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>こんな座り方になることがあります。</p> </div>  	<ul style="list-style-type: none"> • 体幹が弱いです。姿勢が崩れやすいのはふざけとかワザとではありません。 参考：療育教室では、座る姿勢の絵を見えるところに提示してもらっていました。 姿勢が崩れそうなときにさりげなく先生が絵を指すと、気が付いて自分で姿勢を正すことができていました。 <div data-bbox="1031 1189 1166 1402" style="text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1174 1205 1445 1323" style="margin-left: 20px;"> <p>姿勢が整ったときは、「その座り方がいいね」と褒めてください。</p> </div> <p>椅子は体に合った高さを用意し、姿勢が崩れやすい場合はクッションを用意していました。</p>

F. <small>せいかつしゅうかん</small> 生活習慣について		
<small>ばんごう</small> 番号	<small>ぐたいてき ないよう</small> 具体的な内容	<small>たい おう ほう ほう</small> 対応方法
①	<ul style="list-style-type: none"> お箸の持ち方がまだ上手ではなく、食べるのは遅いほうです。よく手づかみをします。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園ではお手拭きを用意して自分で手を拭いていました。スプーン・フォークも用意していたので手づかみをしている時は、「フォークを使ったら？スプーンで食べたなら？」と声をかけてもらっていました。（学校での対応方法を検討してみてください）
①	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃は偏食がありましたが、今はほとんど食べられるようになってきました。しかし、食べたくなくなると箸が止まってしまいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園では、全体の量を少し減らしてもらっていました。食べられないものがある時は、先生と相談をして、一口食べたらいいね、など目安をつけてもらい、食べたことが楽しくなる雰囲気を作ってもらっていました。
②	<ul style="list-style-type: none"> 一人で衣服の着脱はできますが、時間がかかります。 	<ul style="list-style-type: none"> 急かすと焦って、服を前後逆に着たり、裏返しに着たりするので、着替える時間を少し長く取っていただければと思います。
③	<ul style="list-style-type: none"> 排泄（排尿・排便）が完了したのは、少し遅く4歳ごろでした。今は、自分で「おしっこに行ってくる」と言って一人で出来ます。緊張すると、おしっこに行きたがります。 	<ul style="list-style-type: none"> 何かに緊張していることを察していただければと思います。何度も行く場合は、トイレから出た後に、トイレのことは言わずに、話しかけてみてください。何か気になることや心配なことがあるかもしれません。
③	<ul style="list-style-type: none"> 排便は、夜が多いです。時々便秘になることがあります。お薬などは使っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 家では、20分ぐらいトイレに入っています「出た」と言って報告します。学校で排便をすることはほとんどないと思いますが、便秘や下痢の時は、連絡帳に記入しておきます。この頃便の始末も上手になりましたので下着を汚すことはないと思います。トイレットペーパーは3回手に巻いて拭くと教えています。（洋式のトイレで排便しています。和式は出来ないと思います。）